

平成24年度 三重県における高齢者虐待の状況について

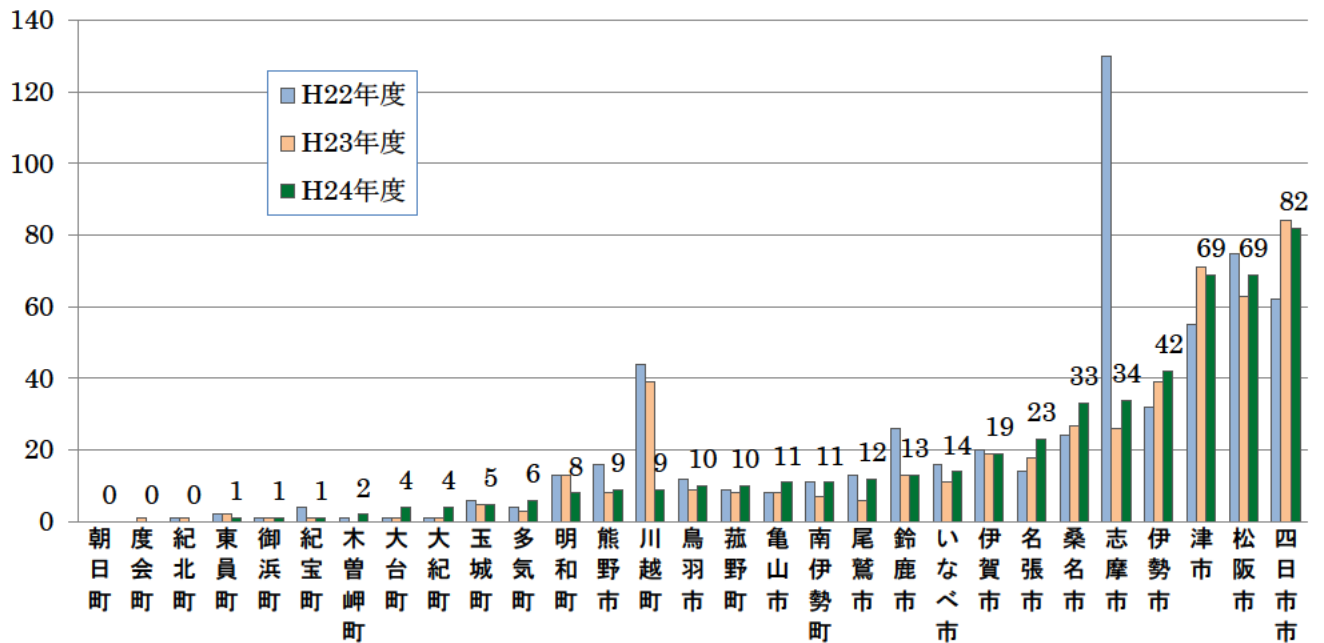
平成25年12月26日
三重県健康福祉部長寿介護課

1 総論

(1) 各市町の相談・通報受理件数の合計

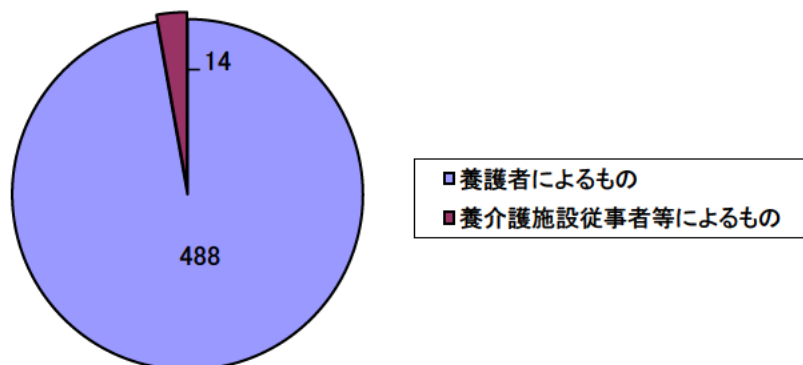
- ・ 県内の平成24年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数は、合計で502件でした。
- ・ 各市町の相談・通報受理件数の内訳は、次のとおりです。

図1-1 平成24年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数



- ・ 相談・通報のうち、488件が養護者による虐待、14件が養介護施設従事者による虐待でした。

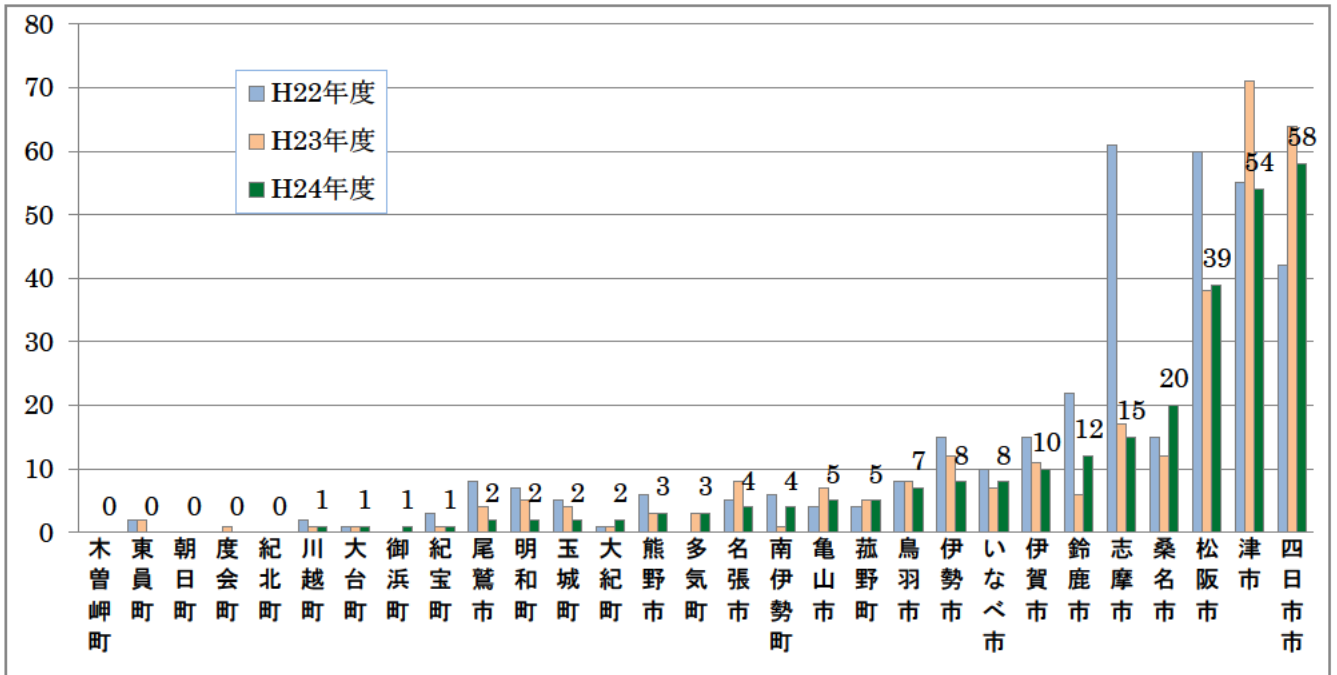
図1-2 平成24年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数の内訳



(2) 各市町において虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例

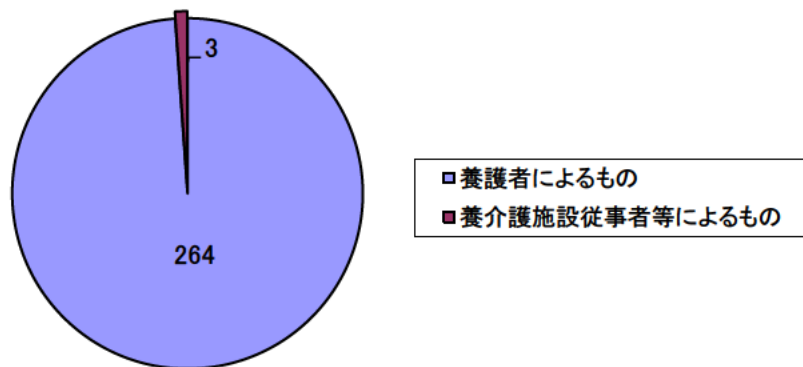
- ・県内の平成24年度中の高齢者虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例は、合計で267件でした。
- ・市町ごとの内訳は、次のとおりです。

図1-3 平成24年度中の高齢者虐待の認定件数



- ・高齢者虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例のうち、264件が養護者による虐待、3件が養介護施設従事者による虐待でした。

図1-4 平成24年度中の高齢者虐待の認定件数の内訳

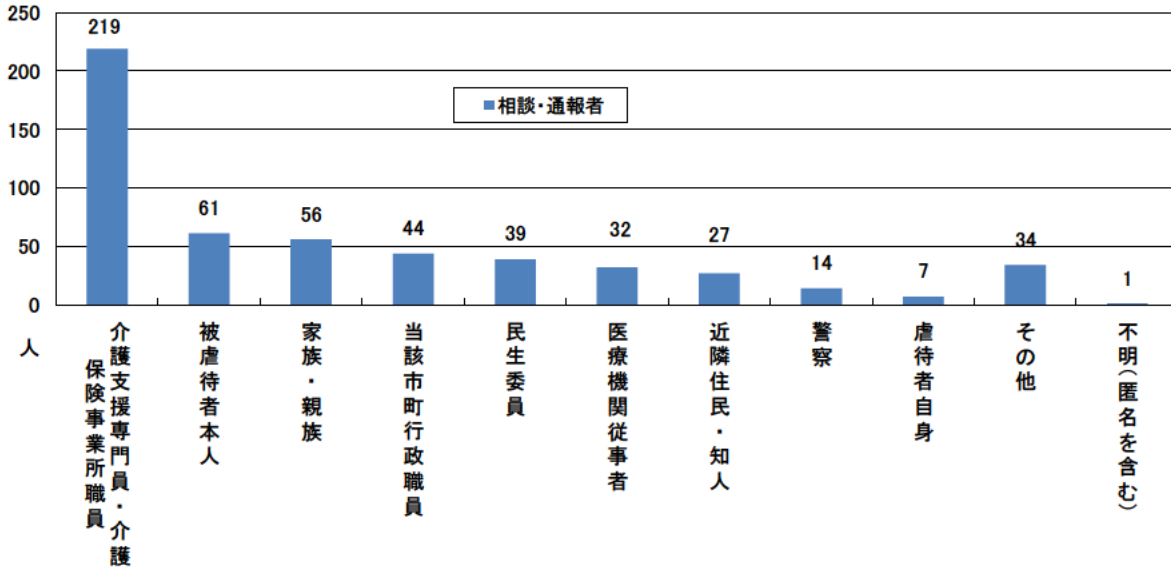


2 養護者による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養護者による虐待488件を相談・通報者別に整理すると、うち、219人（44.8%）が介護支援専門員・介護保険事業所職員によるものです。

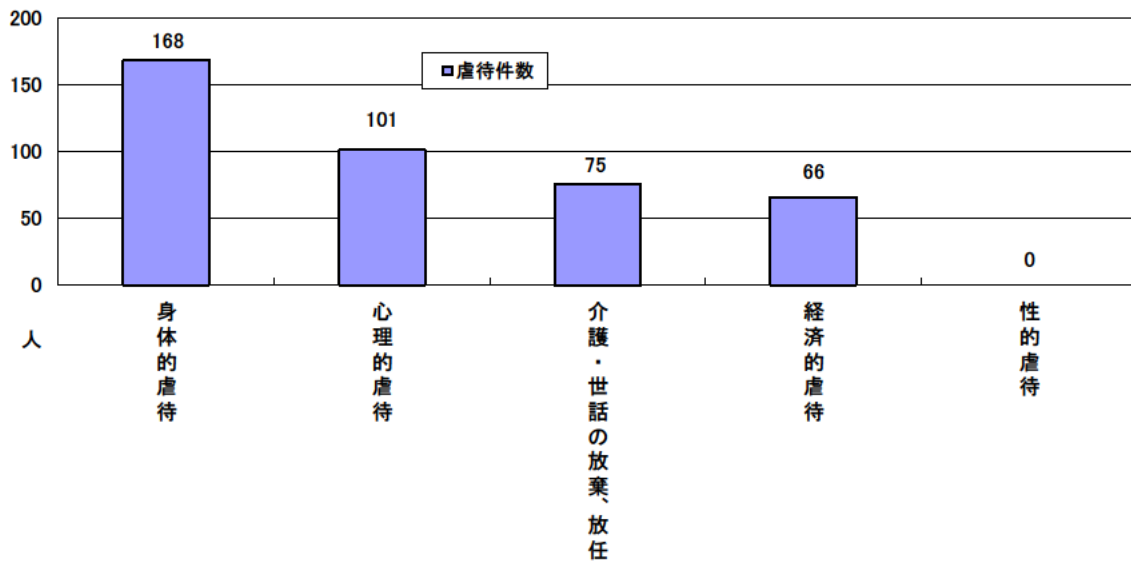
図2-1 養護者による虐待の相談・通報者別内訳（重複回答）



(2) 虐待の種類

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、もっとも多いのが身体的虐待168人（61.3%）です。

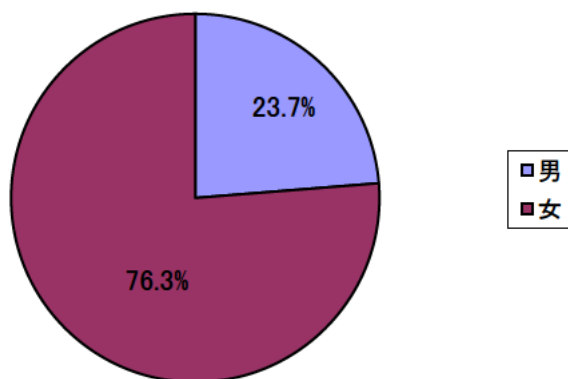
図2-2 虐待の種類（重複回答）



(3) 被虐待者の性別

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、女性が209人（76.3%）、男性が65人（23.7%）です。（1件につき複数の被虐待者もあり、件数とは一致しません）

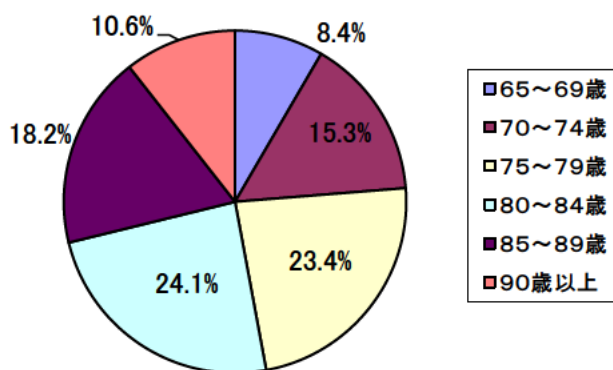
図2-3 被虐待者の性別



(4) 被虐待者の年齢

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、80～84歳が最も多く66人（24.1%）です。

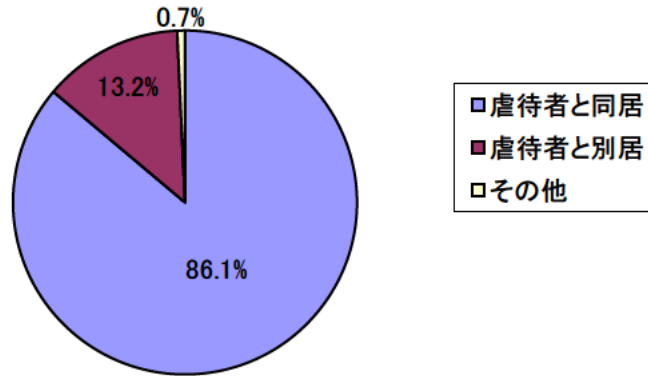
図2-4 被虐待者の年齢



(5) 虐待者との同居・別居

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、虐待者と同居が236人（86.1%）という状況となっています。

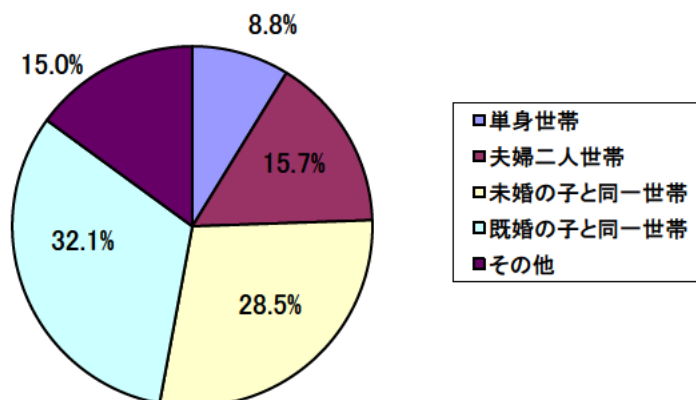
図2-5 虐待者との同居・別居の状況



(6) 世帯構成

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、最も多い世帯構成は、未婚の子と同一世帯および既婚の子と同一世帯の166人（60.5%）となっています。

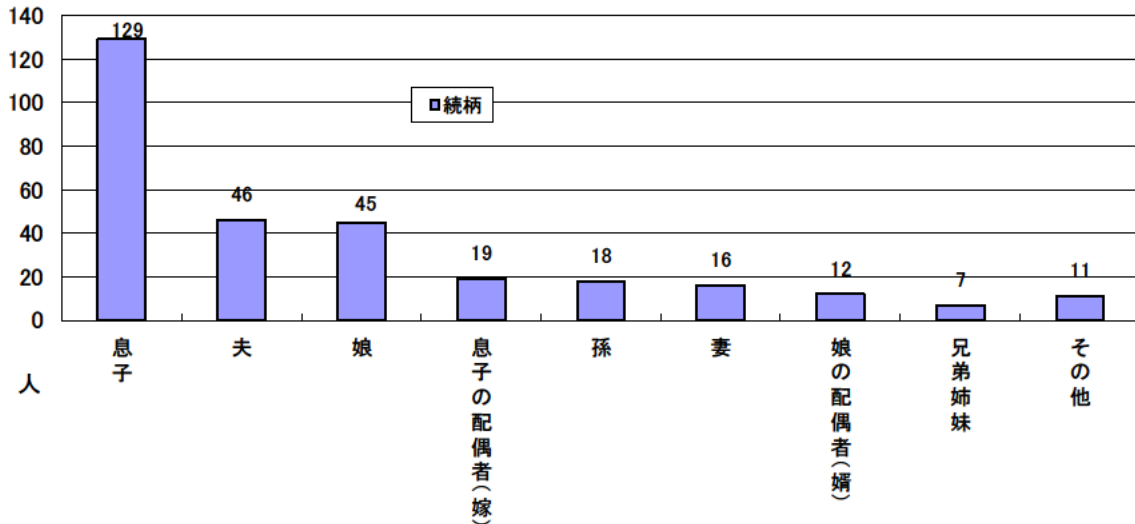
図2-6 世帯構成



(7) 被虐待者から見た虐待者の続柄

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例264件（被虐待者数274人）のうち、最も多い虐待者の続柄は息子で129人（42.6%）という状況です。

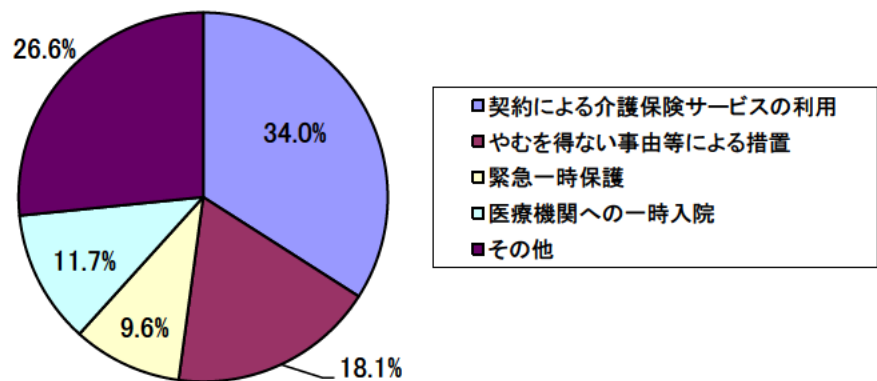
図2-7 虐待者の続柄（重複回答）



(8) 分離を行った事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成24年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った事例を行ったのは94人あります。但し、この件数の中には一部平成23年度に虐待と認定し対応が平成24年度となった事例も一部含まれています。
- ・ その内訳で最も多いのが「契約による介護保険サービスの利用」で32人（34.0%）です。

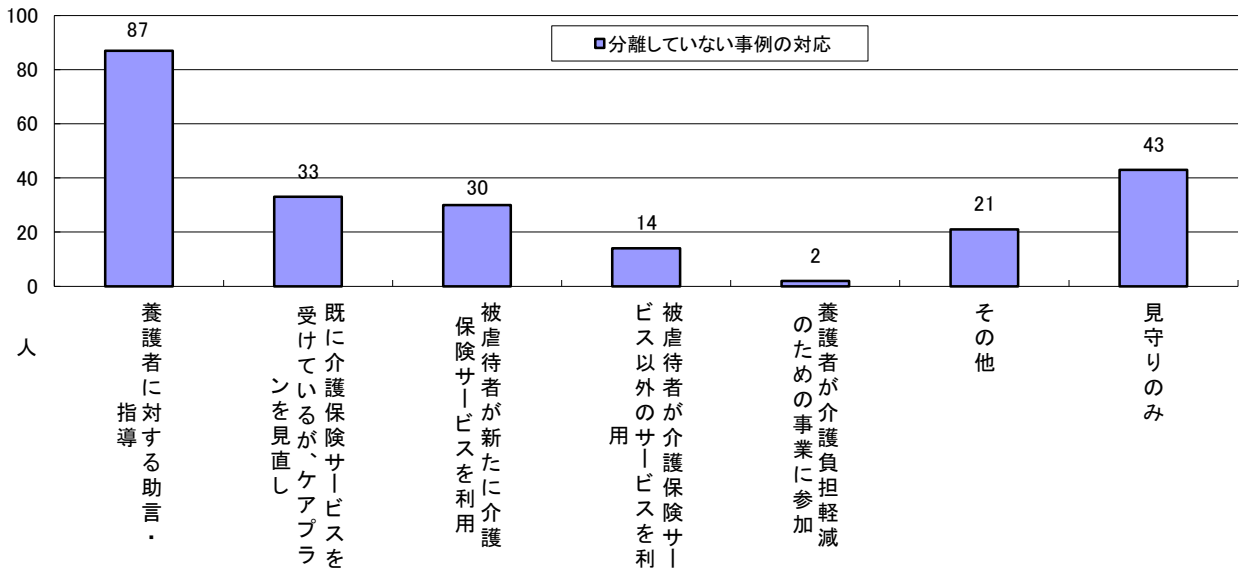
図2-8 分離を行った事例の対応内訳



(9) 分離していない事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成24年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離していない事例は累計で230件（被虐待者数164人）あります。
但し、この件数の中には一部平成23年度に虐待と認定し対応が平成24年度となった事例も一部含まれています。
- ・ その内訳で最も多いのが「養護者に対する助言・指導」で87件（53.0%）です。

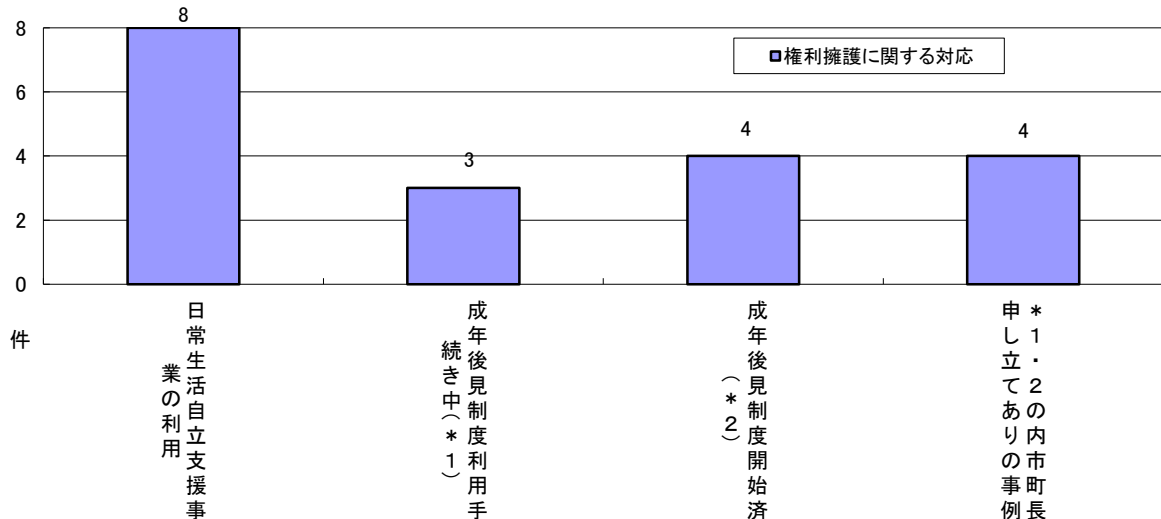
図2-9 分離していない事例の対応内訳（重複回答）



(10) 権利擁護に関する対応

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成24年度中に権利擁護に関する対応を行った事例が15件ありました。その内訳は次のとおりです。

(9) 図2-10 権利擁護に関する対応内訳

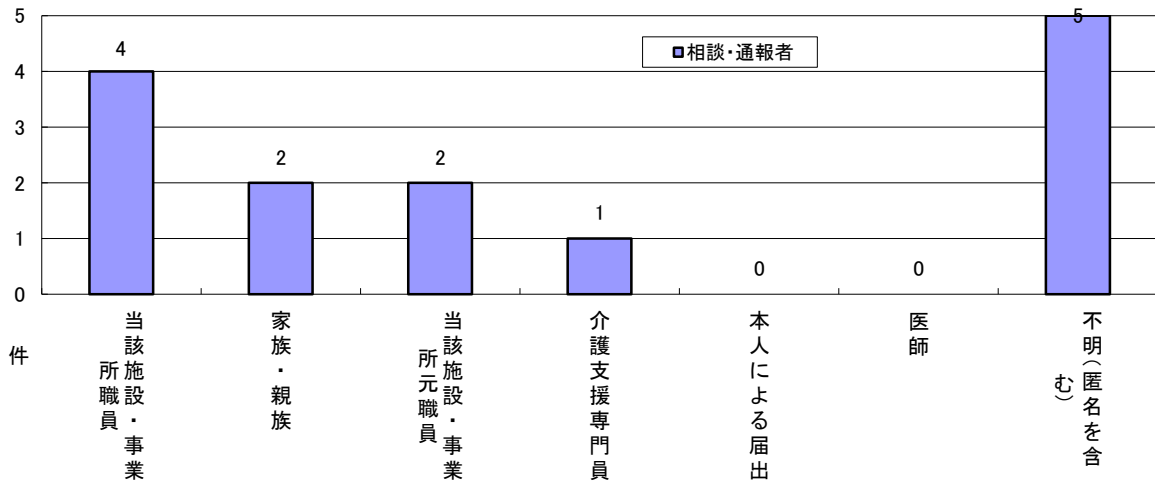


3 養介護施設従事者等による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報があった14件を相談・通報者別に整理すると、次のような結果となります。

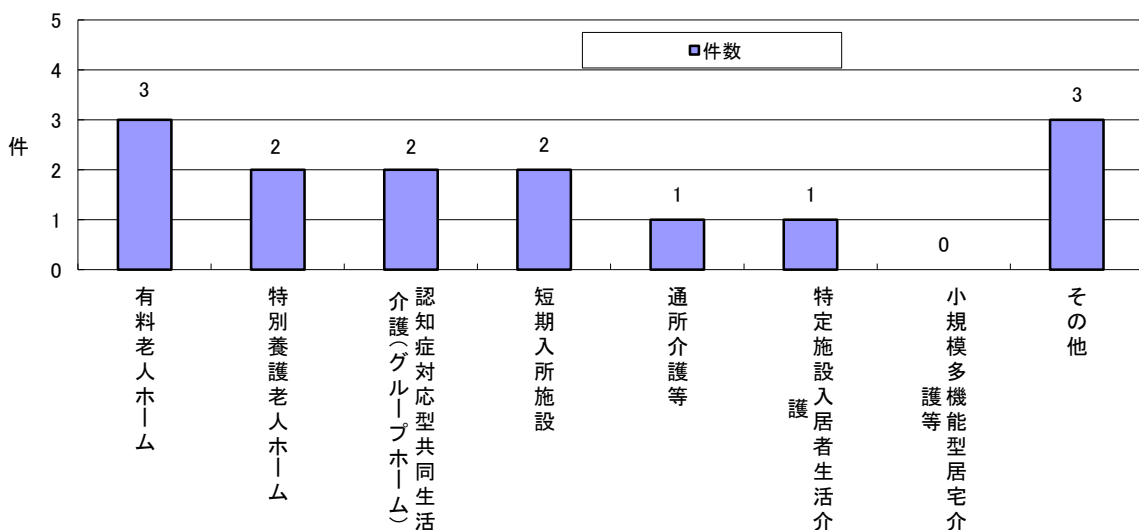
図3-1 養介護施設従事者等による虐待の相談・通報者別内訳（重複回答）



(2) 施設・事業所の種別

- ・ 相談・通報があった14件すべてにおいて事実確認を行い、それらを施設・事業所の種別に整理すると、次のような結果となります。

図3-2 養介護施設・事業所の種別



(3) 虐待の種別

- ・ 事実確認を行った事例14件のうち、虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例は3件です。そのうち、被虐待者が特定できたのは2件で、その種別はいずれも身体的虐待です。

4 虐待を受けた又は受けたと判断した事例の概要について

●養介護施設における従事者等による高齢者虐待について

			H24	H23	H22	
養介護施設における従事者等による高齢者虐待件数 (件)			3	3	0	
高齢者虐待の状況 (人)	被虐待者の状況	性別	男性	1	1	0
			女性	1	2	0
			不明	1	0	0
		年齢階級	70~75 歳	1	0	0
			80~84 歳	1	1	0
			85~89 歳	0	1	0
			90~94 歳	0	1	0
			不明	1	0	0
		状態像	要介護1	0	0	0
			要介護2	1	0	0
	要介護3		0	1	0	
	要介護4		0	0	0	
	要介護5		1	2	0	
	不明		1	0	0	
	高齢者虐待の類型 (重複あり)	身体的虐待	2	3	0	
		介護等放棄	0	0	0	
		心理的虐待	0	1	0	
性的虐待		0	0	0		
経済的虐待		0	0	0		
高齢者虐待に対して取った措置 (重複あり) (件)		施設等に対する指導	3	2	0	
		施設等からの改善計画の提出依頼	3	2	0	
		施設従事者等への注意・指導	3	0	0	
		介護保険法に基づく勧告・命令・処分	0	0	0	
		その他	0	0	0	
その他の事項	虐待があった施設等の種別 (件)	特別養護老人ホーム	1	0	0	
		老人保健施設	0	2	0	
		認知症グループホーム	1	0	0	
		短期入所施設	0	1	0	
	虐待を行った要介護施設従事者等の職種 (人)	介護職	1	3	0	
		看護職	0	0	0	
		管理職	0	0	0	
		その他	0	0	0	

●養護者による高齢者虐待について

			H24	H23	H22	
養護者による高齢者虐待件数 (件)			264	290	357	
相談・通報者 (人) ※主な相談者	介護支援専門員・介護保険事業所職員		219	228	319	
	家族・親族		56	37	55	
	民生委員		39	29	47	
	被虐待者本人		61	42	40	
	近隣住民・知人		27	25	29	
	当該市町行政職員		44	35	23	
高齢者虐待の状況 (人)	被虐待者の状況	性別	男性	65	70	128
			女性	209	232	246
		年齢階級	80~84歳	66	76	99
	高齢者虐待の 類型 (重複あり)	身体的虐待		168	181	201
		介護等放棄		75	75	88
		心理的虐待		101	187	118
		性的虐待		0	2	0
		経済的虐待		66	58	80
	虐待者との同居		236	248	302	
	世帯構成	既婚の子と同一世帯及び 未婚の子と同一世帯		166	174	227
	被虐待者から見た続柄 ※主な続柄	息子		129	131	172
		夫		46	59	69
		娘		45	49	57
		嫁		19	17	33
妻		16	19	27		
孫		18	13	9		
兄弟姉妹		7	4	8		
高齢者虐待に対して 取った措置 (件)	分離を行った事例	契約による介護保険サービスの 利用	32	34	36	
	分離を行わなかった事例	養護者に対する助言・指導	87	88	110	